

5-21 移転

5-21-1 現況

東京都区部の土地利用現況図及び都市計画図の情報等をもとにした、現況における会場の改変エリア内の民家等の状況は、図 5-19-2（「5-19 土地利用」 p5-19-7～p5-19-19）のとおりである。

オリンピックスタジアム（国立霞ヶ丘競技場）、選手村の改変エリアの一部に民家等が存在する。また、夢の島ユース・プラザ・アリーナA、Bの恒設施設による改変エリア内には、江東区の福祉施設である「夢の島いこいの家」が含まれている。

5-21-2 予測評価（会場別）

(1) 評価の指標及び目安

会場別検討における評価の指標及び目安は、表 5-21-1 に示すとおりであり、施設の設置による民家等の移転の有無を評価の目安として予測評価を行った。

表 5-21-1 評価の指標及び目安

評価の指標	評価の基準	評価の目安				
		- 2	- 1	0	+ 1	+ 2
民家等の移転	民家等の移転を伴わないこと	-	民家等の移転あり	民家等の移転なし	-	-

(2) 予測評価の方法

会場別には、各会場の施設計画をもとに、改変エリアの土地利用状況を整理し、民家等の移転の有無について予測評価を行った(表 5-21-2)。

表 5-21-2 予測評価方法（会場別）

予測評価の時期		予測評価の方法
開催中	施設の存在による影響	各会場の施設計画における改変エリアの土地利用状況を整理し、2020年大会の開催に伴う民家等の移転の有無について予測評価を行った。

(1) 予測評価の結果

1) 開催中（施設の存在による影響）

① 一次評価

各会場における改変エリアの土地利用の現況は、表 5-21-3 (p5-21-3～p5-21-4) に示すとおりである。

有明アリーナ、有明BMXコース、有明ベロドローム、有明体操競技場の会場が建設予定である江東区有明1丁目付近の改変エリアは、現在未利用地であるため、民家等は存在しない。

オリンピックスタジアムの改変エリアの一部に住宅用地が存在するが、大会施設の用地はいずれも公有地であり、2020年大会に伴う強制退去等は生じない。

選手村の改変エリアである中央区晴海5丁目付近は、現況では晴海ふ頭公園や運動場等となっている。改変エリアの一部に民家等が存在するが、オリンピックの開催に伴う強制退去等は生じない。

また、夢の島ユース・プラザ・アリーナA、Bの改変区域には、現在、江東区の福祉施設である「夢の島いこいの家」が含まれているが、同施設は建物の老朽化等に伴い、2020年東京大会の開催によらず統廃合を検討している。

その他の会場については、改変エリアに民家等は存在しない。

したがって、いずれの会場についても評価結果は「0」とした。

表 5-21-3(1) 各会場の改変エリアにおける土地利用の現況

会場No.	会場名	改変エリアにおける土地利用
1	オリンピックスタジアム (国立霞ヶ丘競技場)	オリンピックスタジアムの恒設・仮設施設による改変エリアは、現況では商業用地、公園、運動場等となっている。 改変エリアの一部において住宅用地が存在するが、大会施設の用地はいずれも公有地であり、2020年大会に伴う強制退去等は生じない。
2	東京体育館	東京体育館における建設工事は、施設内における観客席、プレハブ等の一時的な仮設に留まるため、民家等の移転は伴わない。
3	国立代々木競技場	国立代々木競技場の恒設・仮設施設による改変エリアは、現況では商業用地、公園、運動場等となっており、民家等は存在しない。
4	日本武道館	日本武道館の改築・改修による改変エリアは、敷地内の公共用地や公園、運動場等であり、民家等は存在しない。
5	皇居外苑	皇居外苑の仮設施設による改変エリアは、現況では道路、公園、運動場等となっており、民家等の移転は伴わない。
6	東京国際フォーラム	東京国際フォーラムにおける建設工事は、施設内における設営等に留まるため、土地の改変はない。
7	国技館	国技館の仮設施設における改変エリアは公共用地となっており、民家等の移転は伴わない。
8	有明アリーナ	有明アリーナの恒設・仮設施設による改変エリアは、現況では大部分が未利用地となっており、民家等は存在しない。
9	有明BMXコース	有明BMXコースの仮設施設による改変エリアは、現況では大部分が未利用地となっており、民家等は存在しない。
10	有明ベロドローム	有明ベロドロームの仮設施設による改変エリアは、現況では大部分が未利用地となっており、民家等は存在しない。
11	有明体操競技場	有明体操競技場の仮設施設による改変エリアは、現況では大部分が未利用地となっており、民家等は存在しない。
12	有明テニスの森	有明テニスの森における改築・改修による改変エリアは、敷地内の公園、運動場等であり、民家等は存在しない。
13	お台場海浜公園	お台場海浜公園の仮設施設による改変エリアは、敷地内の屋外利用地や公園、運動場等であり、民家等は存在しない。
14	潮風公園	潮風公園の仮設施設による改変エリアは、敷地内の公園、運動場等であり、民家等は存在しない。
15～16	東京ビッグサイト・ホールA、B	東京ビッグサイト・ホールA、Bにおける改変エリアは、商業用地、屋外利用地等となっており、民家等は存在しない。
17	大井ホッケー競技場	大井ホッケー競技場の恒設・仮設施設による改変エリアは、敷地内の公園、運動場等であり、民家等は存在しない。
18	海の森クロスカントリーコース	海の森クロスカントリーコースの仮設施設による改変エリアは、現時点で未利用地であるため、民家等は存在しない。
19	海の森水上競技場	海の森水上競技場の恒設施設・仮設施設による改変エリアは、現時点で未利用地であるため、民家等は存在しない。
20	海の森マウンテンバイクコース	海の森マウンテンバイクコースの仮設施設による改変エリアは、現時点で未利用地であるため、民家等は存在しない。

表 5-21-3(2) 各会場の改変エリアにおける土地利用の現況

会場No.	会場名	改変エリアにおける土地利用
21	若洲オリンピックマリーナ	若洲オリンピックマリーナの恒設・仮設施設による改変エリアは、敷地内の屋外利用地や公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。
22	葛西臨海公園	葛西臨海公園の恒設・仮設施設による改変エリアは、敷地内の屋外利用地や公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。
23～24	夢の島ユース・プラザ・アリーナ A、B	夢の島ユース・プラザ・アリーナ A、B の恒設施設による改変エリアは敷地内の未利用地や公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。 なお、夢の島ユース・プラザ・アリーナ A、B の改変区域には、現在、江東区の福祉施設である「夢の島いこいの家」が含まれているが、同施設は建物の老朽化等に伴い、2020年東京大会の開催によらず統廃合を検討している。
25	夢の島公園	夢の島公園の改築・改修による改変エリアは敷地内の公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。
26	夢の島競技場	夢の島競技場の仮設施設による改変エリアは、敷地内の公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。
27～28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ	オリンピックアクアティクスセンター、ウォーターポロアリーナの恒設・仮設施設による改変エリアは、商業用地や公園、運動場等であるため、民家等は存在しない。
29	武蔵野の森総合スポーツ施設	武蔵野の森総合スポーツ施設の恒設施設による改変エリアは敷地内の未利用地であるため、民家等は存在しない。
30	東京スタジアム	東京スタジアムにおける建設工事は、施設内におけるプレハブ等の一時的な仮設に留まるため、土地の改変はない。
31	武蔵野の森公園	武蔵野の森公園の仮設施設による改変エリアは公園・運動場や屋外利用地等であり民家等は存在しない。
32	陸上自衛隊朝霞訓練場	陸上自衛隊朝霞訓練場における建設工事は、施設内におけるプレハブ等の一時的な仮設に留まるため、土地の改変はない。
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部	霞ヶ関カンツリー倶楽部の仮設施設による改変エリアは、土地利用区分では山林・荒地等であり、民家等は存在しない。
34	札幌ドーム	札幌ドームにおける建設工事は、施設内のプレハブ等の一時的な仮設に留まるため、土地の改変はない。
35	宮城スタジアム	宮城スタジアムは既存の状況で使用するため、土地の改変はない。
36	埼玉スタジアム 2002	埼玉スタジアム 2002 における建設工事は、施設内におけるプレハブ等の一時的な仮設に留まるため、土地の改変はない。
37	横浜国際総合競技場	横浜国際総合競技場における建設工事は、施設内におけるプレハブ等の一時的な仮設に留まるため、土地の改変はない。
0V	選手村	選手村の新設による改変エリアは、現況では未利用地や晴海ふ頭公園や運動場等となっている。改変エリアの一部に民家等が存在するが、オリンピックの開催に伴う強制退去等は生じない。
IBC/MPC	東京ビッグサイト (IBC/MPC)	IBC/MPC の改築・改修による改変エリアは、主に屋外利用地であり、民家等は存在しない。

② ミティゲーション

「1-5 立地の適地性」(p1-93)に整理しているように、2020年東京大会では、1964年東京大会の競技施設をはじめとした既存施設の利用により土地の造成や改変を抑え、環境・社会・経済への負荷を最小化するように考慮されており、構想段階において戦略的に民家等の移転をなくした立地計画としている。

③ 二次評価

「②ミティゲーション」で示すように、2020年東京大会では、既存施設の利用や未利用地の積極的な有効利用により、土地の造成・改変を抑えた立地計画としている。一次評価と同様、施設の建設による民家等の強制移転はないため、各会場の評価結果は、いずれも「0」とした。

(2) 評価結果の総括

競技会場の整備計画による民家等の移転の有無について、大会計画及び現況の土地利用状況をもとに評価を行った。

2020年東京大会では、1964年東京大会の競技施設をはじめとした既存施設の利用により土地の造成や改変を抑え、環境・社会・経済への負荷を最小化するように考慮されており、構想段階においてすべての会場において戦略的に民家等の強制移転をなくした立地計画としている。

各会場に対する移転の評価結果は表 5-21-4(p5-21-6)に示すとおりであり、いずれの会場においても2020年東京大会の開催による民家等の強制移転を伴うことはないことから、いずれの会場についても評価結果が「0」となる。

表 5-21-4 各会場に対する移転の評価結果総括表

会場		評価点(一次)						評価点(二次)					
No.	名称	開催前		開催中		開催後		開催前		開催中		開催後	
		工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響	工事 影響	招致等 の影響	存在 影響	競技の 影響	工事 影響	後利用 の影響
1	オリンピックスタジアム(国立霞ヶ丘競技場)			0						0			
2	東京体育館			0						0			
3	国立代々木競技場			0						0			
4	日本武道館			0						0			
5	皇居外苑			0						0			
6	東京国際フォーラム			0						0			
7	国技館			0						0			
8	有明アリーナ			0						0			
9	有明BMXコース			0						0			
10	有明ベロドローム			0						0			
11	有明体操競技場			0						0			
12	有明テニスの森			0						0			
13	お台場海浜公園			0						0			
14	潮風公園			0						0			
15~16	東京ビッグサイト・ホールA、B			0						0			
17	大井ホッケー競技場			0						0			
18	海の森クロスカントリーコース			0						0			
19	海の森水上競技場			0						0			
20	海の森マウンテンバイクコース			0						0			
21	若洲オリンピックマリーナ			0						0			
22	葛西臨海公園			0						0			
23~24	夢の島ユース・プラザ・アリーナA、B			0						0			
25	夢の島公園			0						0			
26	夢の島競技場			0						0			
27~28	オリンピックアクアティクスセンター ウォーターポロアリーナ			0						0			
29	武蔵野の森総合スポーツ施設			0						0			
30	東京スタジアム			0						0			
31	武蔵野の森公園			0						0			
32	陸上自衛隊朝霞訓練場			0						0			
33	霞ヶ関カンツリー倶楽部			0						0			
34	札幌ドーム			0						0			
35	宮城スタジアム			0						0			
36	埼玉スタジアム2002			0						0			
37	横浜国際総合競技場			0						0			
0V	灘手村			0						0			
IBC/MPC	東京ビッグサイト(IBC/MPC)			0						0			

※会場No.は、表 1-3-37 (p1-85~1-86) に示す会場No.を表す。

※評価点の目安は以下のとおりである。

- +2: 大きなプラスの影響
- +1: ある程度のプラスの影響
- 0: 中立
- 1: ある程度のマイナスの影響
- 2: 大きなマイナスの影響
- : 予測評価の検討において対象外とした影響
- : 網掛けは非該当項目のため対象外とした影響

1. 事業特性の把握 ～大会計画案の整理～
2. 環境影響要因の集出
3. 環境影響評価の項目の選定
4. 評価の目安

5. 予測及び評価

5-1 大気質

5-2

5-3

5-4

5-5

5-6

5-7

5-8

5-9

5-10

5-11

5-12

5-13

5-14

5-15

5-16

5-17

5-18

5-19

5-20

5-21